

ワークショップ型 研究会

東部教育事務所

東部地区道徳授業研修会で取り入れた90分の研究会（分科会）を紹介します。

①授業を見ながら付箋に書き込んでいきます。これが研究会（分科会）で活躍します。



②左表：授業者が「私の観てほしいポイント」を3点に絞り記入します。授業前に、これを参観者に配布します。

これに基づいて、参観者は、授業を分析していきます。3点について、気づいたことを付箋にどんどん書き込んでいきます。

所属校 氏名		
①本時のねらいについて ・人間は一人では生きていけない。人間は生かされて生きている。社会の中での生き残るべき道徳を身に付けること。この視点に、人や自然などに対する思いやりや愛情、そして感謝の心が大切であった。ということに気づかせたい。	②柱立てについて ・資料を読んだ後に、印象に残ったところに線を引かせ発表させる。また、終末部分の鬼ばあさんの音動をあらかじめ伏せておき、「鬼ばあさんはどうなったのだろうか」を自由に想像させて発表させる。柱立ては教師の方で行い、短冊やキーワードのカードを活用する。柱③では伏せてあった終末部分の鬼ばあさんの音動を開き読み聞かせて、改めて考えさせる。	③話し合いについて ・発問(3)においては最初、自分の想像した鬼ばあさんと今までの流れから感じられた「鬼ばあさんは変わったか」「鬼ばあさんは愛されるか」を教師と生徒の対話を含め活発な意見を出させて多様な意見を聞き考えさせることにより「真の価値ある生き方」を深く見つけさせたい。
	私の授業の 観てほしい ポイント	

③右表：参観者は、「私の授業の観てほしいポイント①～③」について、書き込んだ付箋（色別）を「授業分析メモ」に貼っていきます。

<付箋の活用方法>

青色：授業の良かった点

赤色：授業の改善点

黄色：改善提案（こういう方法はどうか）

授業分析メモ 所属校 氏名	
①本時のねらいについて	③話し合いについて
②柱立てについて	私の授業の観てほしいポイント①～③ <付箋の活用方法> 青：授業の良かった点 赤：授業の改善点 黄：改善提案 (こういう方法はどうか)



④司会から研究会のねらいや流れについて（5分）

⑤授業者からの自己分析等について（5分）説明してもらいます。

⑥研究会では グループに分かれ、授業参観時にメモした付箋を「授業分析表（班）」に整理していきます。（25分）



⑦左写真は、付箋をグループで整理した「授業分析表（班）」です。貼り付けながら、意見を出し合い、考えをまとめていきます。



⑧グループで意見交換して、よりよい授業の在り方の改善提案を模索します。



⑨上の写真は、各グループの代表が、グループの意見をまとめて、参観者全体に報告しているところです。情報の共有化を図ります。（15分）

⑩左写真：指導者の指導助言で深め、授業改善のポイントを押さえます。（20分）

⑪授業参観アンケートを記入。（10分）



⑫グループの話し合いが進んでいる間、授業者は指導者から、指導助言を受けたり、グループの話し合いに参加したり、時間を有効に活用します。